

連絡先事務局：東京地評 豊島区南大塚 2-33-10 TEL03-5395-3171 FAX.03-5395-3240

編集・発行：東京憲法会議 千代田区神田三崎町 2-11-13 TEL03-3261-5454 FAX.03-3261-5457

## 安倍暴走政治を変える最大の武器

# 3000万人署名が1800万を超えました

安倍改憲阻止 3000 万署名が 6 月 10 日現在で九条の会なども含めて 1800 万を超えたことが明らかになりました。全国共同センターは 1490 万、東京共同センターは 106 万 4577 となっています。

7 月 1 日付けで、全国市民アクションが、「**まだまだ上げられる！さらなる戸別訪問と対話を 秋の臨時国会めざし、3000 万人達成に進もう**」と 3000 万人署名運動のひきつづきの推進を呼びかけるアピールを發表しました。

アピールでは、「安倍 9 条改憲反対の世論を確実なものにするためには、着実な面接と対話の積み上げが必要です。戸別訪問は、地味に見えても面接と対話の機会を作り出せる効果的な行動です。すでに各地・各団体などでは戸別訪問が取り組まれてきましたが、参加者の数や体力、多い留守宅などもあり、まだまだ大きな対話と署名の可能性が残っています。この可能性を掘り起こすため、さらに工夫と取組みを具体化しましょう。」と呼びかけ、今後の集約については**第 4 次集約は「9 月 30 日」**（第 5 次集約は秋の臨時国会の推移を見て設定します）としています。

### 世田谷の会が署名ハガキを呼びかけ

### 署名ハガキが続々地評に到着

6 月 8 日（金）、小田急線祖師ヶ谷大蔵駅前

署名宣伝行動を実施し、区労連、地区労、区職労、東京土建世田谷支部、新婦人などから 23 人が参加しました。主催は「いかそう憲法！今こそ 9 条を！世田谷の会」。わずか 1 時間の宣伝の間、3000 万署名 85 筆が集まりました。モリ・カケや財務省などの問題に象徴される、ウソ、隠ぺい、改ざんといった安倍首相の行政私物化への批判が、署名に結び付いてきています。



日が長くなった 6 月は、18 時を過ぎてもまだ明るく、駅前宣伝は目立ちます。明るい場所で、目立つようにということで、宣伝には必ずテーブルを置き、全国市民アクションの作成した横断幕やポスターを活用してアピールしています。

また、宣伝をしていると対話になることが多くなりました。署名板まで寄ってきて、「安倍さんはひどいわね」とよく声を掛けられます。対話になった方には、3000 万署名ハガキの入ったティッシュを手渡し、「ティッシュの中に署名ハガキが入っているので、ぜひ署名してポストに

投函してほしい」と伝えています。署名ハガキは続々と東京地評まで届いています。

## 八王子は目標の47%達成し奮闘

憲法共同センター八王子では3000万署名が始まってから毎月第3金曜日を主要駅頭宣伝と決めて行動しています。月ごとに参加者、署名数が増え、最近では「安倍さん辞めさせる署名よね」と言いながら署名をしてくれる女性が増えてきています。ある駅では、宣伝を始めると必ず言いがかりをつけてくる男性がいましたが、4月の宣伝から何も言わずに通り過ぎていきます。電機情報ユニオン八王子支部は、共同センターの提起に応じて、毎月宣伝カーを運行しています。必ず3人から4人が参加し、車を停めて宣伝をしています。月を追うごとに署名をする人が増えてきています。

16日の主要駅宣では、あいにくの雨天でも7月1日の望月衣塑子さん講演のチラシだったためか、ティッシュなしでも30分で100枚配布は最近にない出来事でした。

6月17日のno war八王子アクションにも参加し宣伝しました。現在、目標の47%は突破しましたが、7月1日の講演を足場に最後まで追求していきます。

## 5回目の若者憲法集会

### 「9条守れ」とデモには2000人

6月3日、若者憲法集会&デモがおこなわれました。民青都委員会の西川委員長の報告です。

この間毎年おこなわれてきた青年による全国規模の憲法集会。今年は5回目となります。安倍9条改憲が推し進められる中、今回は9条改憲反対を強く打ち出して、「憲法9条は変えさせない」と願う青年が全国各地から集まりました。主催は同実行委員会。

午前は都内各会場で8つの分科会がおこなわ

れ、午後は上野公園野外音楽堂でメイン集会、その後は新宿中央公園に移動してデモ行進です。メイン集会には1100人、デモ行進には2000人が参加しました。

メイン集会では、学生とゲストスピーカーのトークセッションがおこなわれました。学生は自分の通う大学で9条の会を結成した女性、ゲストスピーカーは東京大学大学院教授で9条の会事務局長の小森陽一さんです。学生の疑問に応えながら、小森さんは、改憲策動について、冷戦下から現在に至るまでの歴史的経過に触れながらわかりやすく語ってくれました。参加者からは、「歴史の勉強をしたいと思った」との声から、「3000万人署名の3000万の意味がわかった」という声まで、幅広い感想が出されました。



デモ行進は、青年グループ「未来のための公共」と共同でおこなれました。青年の憲法集会らしく、「はじめてデモというものに参加した」という声がしばしば聞かれました。また、組合活動を頑張っている青年からは「デモの経験はあるけれど、こんな若い人ばかりのデモは初めて。驚いている」という声も。

安倍政権による9条改憲阻止、各地で運動が広がる跳躍台となる集会とデモとなりました。

### ■7月の「19日」行動は国会正門前で

7月19日(木) 18:30~

場所: 国会正門前(共同センターは南庭)

数万人をめざそうと呼びかけています。